



2010年6月4日

日本 GAP 協会公認 JGAP 指導員研修機関 制度のスタートについて

日本 GAP 協会（理事長：高橋政行）は、日本 GAP 協会認定の JGAP 指導員向け各種研修を実施できる「日本 GAP 協会公認 JGAP 指導員研修機関」の制度をスタートします。

日本 GAP 協会公認の JGAP 指導員研修機関が実施できる研修は次の通りです。

- ① 日本 GAP 協会認定 JGAP 指導員 基礎研修
- ② 日本 GAP 協会認定 JGAP 団体認証講座
- ③ 日本 GAP 協会認定 JGAP 指導員 現地研修

2008年4月から2010年3月の2年間で、これらの3つの研修の受講生は延べ2,533名でした。日本の GAP 関係者の多くがこれらの研修を活用しております。これまで研修は日本 GAP 協会だけが開催してまいりましたが、今後は一定の条件の下で日本 GAP 協会以外の機関も JGAP 指導員向け研修を開催することができるようになります。

この制度がスタートすることにより、JGAP 指導員を養成し、その能力向上を図る研修機関が全国各地に設立されることが期待されています。日本の GAP 普及に不可欠である優秀な JGAP 指導者の育成・増加が促進されます。農業関係の団体、JGAP 認証農場、農業資材の会社、学校などが研修機関になると予想されています。

本制度の詳細は、「日本 GAP 協会公認 JGAP 指導員研修機関規約」に定められています。

ホームページ → http://jgap.jp/Kiyaku_Saisoku/kensyukikan_kiyaku.pdf

また、「日本 GAP 協会公認 JGAP 指導員研修機関」の制度スタートに伴い、その研修機関の設立要件の一つである研修運営組織を主管する JGAP 上級指導員の制度も同時に新設されました。

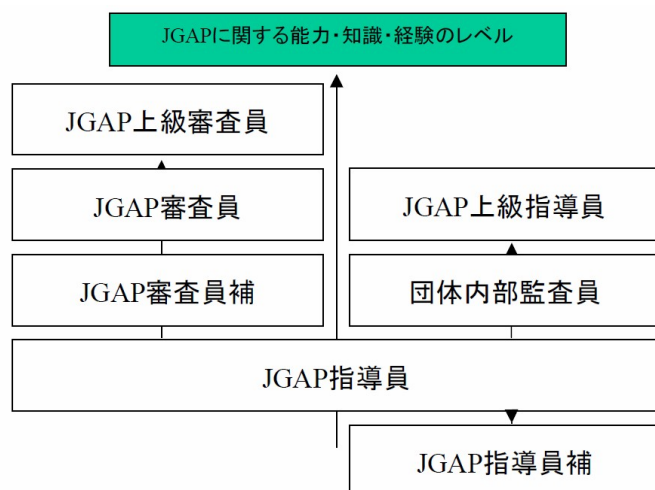
JGAP 上級指導員の制度の詳細は、「JGAP 指導員規約」に定められています。

ホームページ → http://jgap.jp/Kiyaku_Saisoku/instructor_constitution.pdf

NEWS RELEASE

<参考：JGAP 指導員数の推移と出身母体の割合>

	2008年3月	2009年3月	2010年3月
農業生産者	8%	10%	13%
都道府県の普及指導員	3%	10%	12%
農協関係	8%	14%	15%
農産物流通・小売・食品メーカーなど	10%	8%	9%
農薬・肥料・農業資材・資材メーカーなど	59%	49%	43%
その他	12%	9%	8%
JGAP 指導員 試験合格者数	836名	1,873名	2,485名



<参考：JGAP 認証農場数の推移>

2007年11月 JGAP 第三者認証制度 開始

2008年3月 236農場 / 2009年3月 440農場 / 2010年3月 902農場

- * 日本 GAP 協会は、日本における本格的な GAP (Good Agricultural Practice) の普及を推進している民間非営利団体です。農業界と流通業界が共同で運営しております。
- * JGAP とは、生産段階における農産物の安全確保等を目的とした農業生産工程管理手法です。青果物・穀物(コメ等)・日本緑茶(荒茶)の生産農場用のものがあります。

窓口担当者 秋庭 Tel 03-5215-1112 Fax 03-5215-1113

(FAX 頂ければ回答致します) を入れてください。

取材希望 研修機関の設立に興味があります

御社名

部署名

御名前

住所

電話番号